

補聴器用 空気電池の取り扱い



使い始める時

- 1 使い始める時は、電池の表面(平らなプラスの面)に貼ってあるシールをはがしてからご使用ください。電池のシールは一度はがすと少しずつ電池容量が少なくなりますので、使い始める時にはがしてご使用ください。
- 2 シールをはがすと空気孔から酸素が入り、数十秒ほどで電圧が安定しますので、その後電池を補聴器に入れてください。

空気電池



プラス面 マイナス面

補聴器の種類と電池の種類・サイズ(電池実寸大)

SUPER・38モデル



PR44 (675)
直径11.6mm

9・19モデル



PR48 (13)
直径7.9mm

X・XP・FS・FAモデル



PR41 (312)
直径7.9mm

CIC・PA・mモデル



PR536 (10)
直径5.8mm

補聴器に入れる時

補聴器に電池を入れる時は、空気孔をふさいでしまわないように指の汚れや汗に気をつけてください。うまくつまめない場合は、補聴器に付属している電池取り出し用マグネット(磁石)を使いましょう。

補聴器を使わない時は

いったんシールをはがした電池は、なるべく使い切るようにしてください。そのままでは放電の状態になりますので、補聴器を数日使用しない時は、電池を外して再びシールでプラス面を密閉しておきましょう。(再びシールを貼っても長期間の保存はできません)

冬場の電池寿命について

電池寿命は、補聴器の設定や使用状況によって変わります。また、冬場など気温が低く乾燥した条件で使用した場合、電池寿命は短くなります。

電池が冷えている場合は、手で電池を少し温めてから使用しましょう。

電池の使用推奨期限

空気電池には使用推奨期限(製造後約3年)があります。ご購入の際、ご使用前には十分な使用期間が残っていることをご確認ください。

その他の注意事項

- 補聴器を乾燥器や乾燥ケースに入れる際には、必ず電池を外してください。電池と一緒に入れると電池寿命が短くなります。

- 直射日光、高温・多湿の場所を避けて保管してください。
- 電池は水気を嫌います。濡れた手で触ったり、汗などで汚れた場合はよく拭き取ってご使用ください。
- 使用済みの電池は、お住まいの自治体の処分方法に従ってください。